

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">子どもと英語</p>	<p>対象学科・学年 教育教福3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">高村 博正</p>
<p>授業テーマ： 英語の絵本（童話）を翻訳する。簡易装丁（製本された白材料が市販されている）で完成させる。同時にこの読み聴かせを練習する。</p>		
<p>授業の概要と目標：半年間の授業で、英語の童話や絵本を英語でわかり易く読み聴かせができるよう、訓練する。具体的には以下について討論し、実習する：海外研修やプレー・スキーム、英語圏の子どもたちへの読み聴かせ、さらに幼稚園や小学校低学年の子どもたちに英語のたのしさを絵本で伝える訓練。発音やリズムや感情表現は、ネイティブスピーカー以外の読み手はどうやるのか？日本語訛の英語の童話や絵本朗読はどのような「ユニークでたのしい」雰囲気とメッセージを持つ可能性があるのか？読み手のたのしさと喜びと感動が、読み聴かせを通じて子どもに伝わるのは、外国語でも同じである。</p>		
<p>評価方法：前期・後期の定期試験の他に、毎回の受講とスコアカードの記入成果が評価の対象になる。毎回の評価点（100 点満点）の積算を講義回数で割り、その6割以上獲得が基本。優良可の評価は従来通り。欠席は-20 点を加算。遅刻は当日の全得点を半減する。スコアカードによる毎回の評価点は、授業のための準備評価が5割を占め、授業での発表内容評価が5割となる。同時に、教師が学生を評価するだけでなく、逆に学生が教師を毎回評価するシステムも採用する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『カナダのむかし話』（本学図書館に所蔵あり。各自での購入不要）</p>	<p>著者 高村博正</p>	<p>出版社 偕成社</p>
<p>参考書</p> <p>その他講義中に紹介する。教育福祉学会学会講演ビデオ、高山智津子氏著書など</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入門講義と学生・担当者の自己紹介。年間スケジュールの発表。基本資料と日本語の絵本と童話の読み聴かせについて討論 2. 『カナダのむかし話』紹介。松島トモ子朗読 3. 日本の絵本の読み聴かせ実習① 4. 日本の絵本の読み聴かせ実習② 5. 英語の絵本の読み聴かせの説明① 6. 英語の絵本の読み聴かせの説明② 7. 英語の絵本の読み聴かせの聞き取り 10. 英語絵本・童話の読み聴かせ材料集め② 11. 読み聴かせ実践① 12. 読み聴かせ実践② 13. 読み聴かせ実践③ 14. 読み聴かせ実践④ 15. 翻訳作品完成・提出 		